

# 第67回 『あいおの会』

## - 失語症友の会 -

### 1、「失語症友の会」とは

失語症とは、脳卒中や事故などの後遺症によって、言葉を操る能力に障害が残った状態をいい、聞く・話す・読む・書くことすべてに影響を及ぼします。このような失語症の方に対して、言語聴覚士が中心となり、個別の訓練・支援をおこなっております。

失語症の多くの方は、日常の何気ない会話が不自由になり、仕事や趣味活動など、社会活動への参加が難しくなります。そこで、熱海・伊東地区では、失語症の方々のコミュニケーションの機会を作り、交流を深めるという目的で、平成18年7月より「失語症友の会」を開催しております。会には国際医療福祉大学熱海病院と熱海所記念病院の言語聴覚士や患者様のご家族も参加しております。

### 2、第67回「あいおの会」

令和元年11月10日(日)国際医療福祉大学熱海病院にて、第67回失語症友の会が開かれました。今回は、失語症患者様7名とご家族様、言語聴覚士が集まり賑やかな会となりました。

今回は遠足の代わりに、体を動かして楽しめるボウリングを行いました。ボウリング経験の少ない方が多かったです。慎重に狙いを定めたり投げ方を工夫されたりと白熱しながらゲームを楽しんで頂きました。他にも、今までの友の会の写真を見て思い出を振り返りながら、いつもより少し豪華なお菓子とお茶を堪能しました。今回は、皆さまとの交流を楽しむ機会が多かった会となりました。



\* 次回は **2月16日(日) 午前10時**の開催を予定しています。

国際医療福祉大学熱海病院で行います。会場は地下1階の会議室となります。気候も変わり、寒くなってまいりましたので、皆さまお元気にお過ごしください。